

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表・令和3年3月

事業所名           それいゆ・ほっぷ          

		チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動内容によって使用する部屋を変えています。活動が充実できるスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	○		利用されるお子様の発達や状態、活動内容、天候等に応じて職員配置を決めています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	療育室が2階にあるため、階段ですれ違うことがないように配慮しています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		週に1度、話し合いの時間を作っています。参加できない職員には書面で知らせています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		療育に必要な部分は随時、改善しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部の研修に参加したり、法人内で研修を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		6か月に1度以上、個別支援計画の見直しをするために、職員間で会議を行ったり、ニーズを確認するために面談を設定している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		医療機関等で発達検査を受けた場合には、毎回結果を提出していただいています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		1つの活動が同じ曜日に重ならないように工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇等、利用時間の長い時には、課題、運動、休憩等メリハリをつけて設定するようにしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		発達状況や一人一人の得意なこと、苦手なことに応じて個別、集団での計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ せて支援を行っている	○		
関係機 関や保 護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわしい 者が参画している	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切 に行っている	○		送迎時に利用者様の様子の聞き取りをしています。行事や下校時刻 等は学校からのメールや保護者からの連絡で調整しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	対象児の在籍なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こ ども園、児童発達支援事業所等との間で情報 共有と相互理解に努めている	○		利用開始前に聞き取り等を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所か ら障害福祉サービス事業所等へ移行する場 合、それまでの支援内容等の情報を提供する 等している	○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受け ている	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がい のない子どもと活動する機会がある		○	新型コロナウイルス感染予防の観点から行っていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加して いる	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っている	○		連絡帳でのやりとりや送迎時に伝えています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレント・トレーニング等の支援を 行っている		○	
保 護者へ の説 明責 任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につい て丁寧な説明を行っている	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて電話でのやりとりや面談を設定しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開 催する等により、保護者同士の連携を支援して いる		○	新型コロナウイルス感染予防の観点から今年度は保護者交流会を 行っていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体 制を整備するとともに、子どもや保護者に周知 し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応し ている	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し て発信している	○		行事予定、活動の様子等のおたよりを月1回以上発行しています。
	35	個人情報に十分注意している	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている		○	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	マニュアルを策定していますが、保護者に周知はしていません。今後、周知するようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月1回どの利用者様にも経験していただけるよう、曜日を変えて行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止のチェックリストを毎月全職員で行うとともに、年1回以上の事業所内研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	対象児の在籍なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	